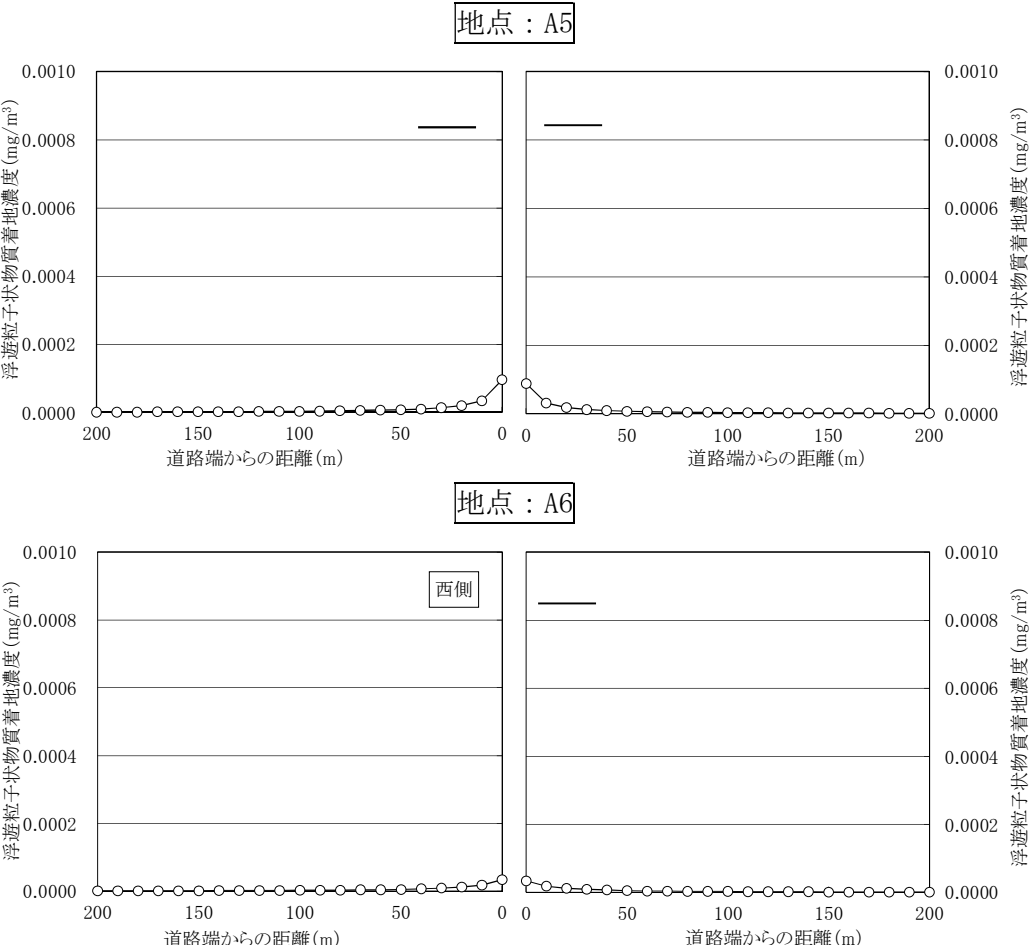
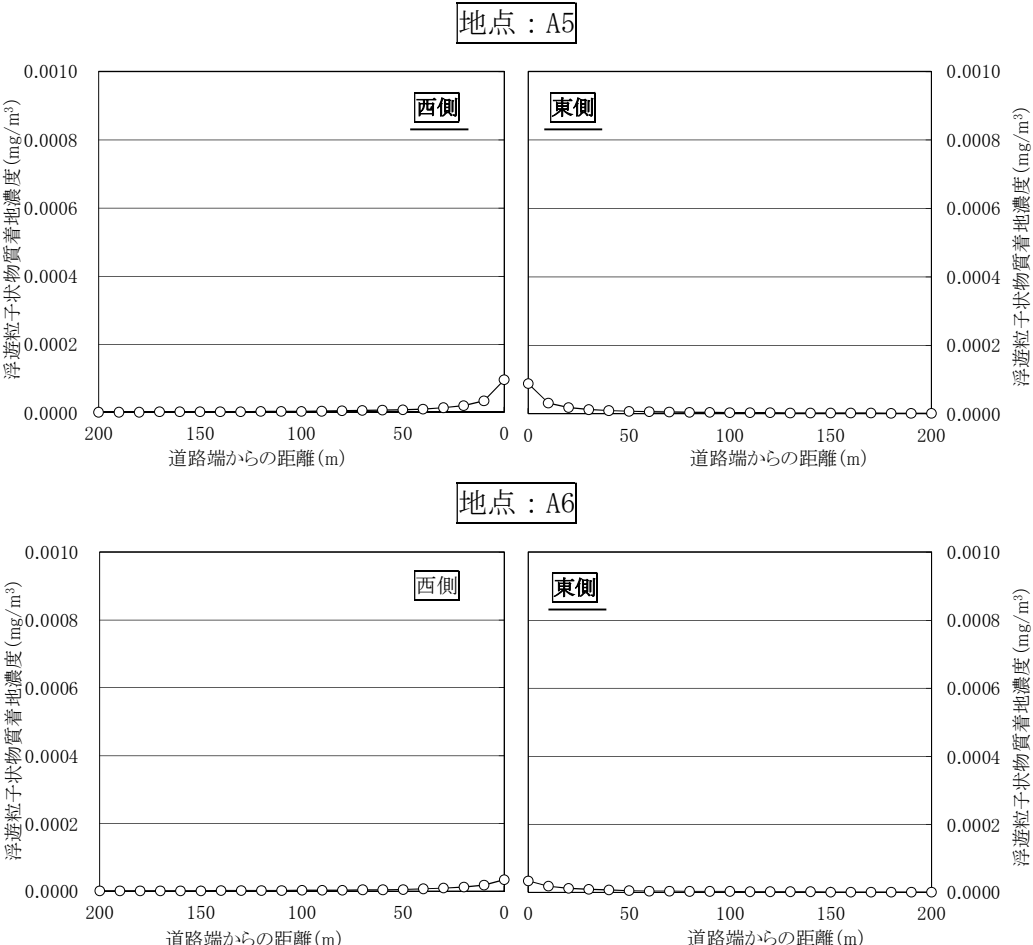


頁		誤	正																																						
146	下から 11行目	調査結果は、「第2章 環境影響評価を実施しようとする地域及びその地域の概況、2-2 環境影響評価を実施しようとする地域の概況、2-2-1 自然的状況、(1) 気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況、1) 一般的な気象の状況、及び2) <u>大気</u> に係る環境の状況」に示すとおりである。	調査結果は、「第2章 環境影響評価を実施しようとする地域及びその地域の概況、2-2 環境影響評価を実施しようとする地域の概況、2-2-1 自然的状況、(1) 気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況、1) 一般的な気象の状況、及び2) <u>大気質</u> に係る環境の状況」に示すとおりである。																																						
151	上から 3行目	調査事項は、事業計画地周辺における <u>一般環境大気</u> の状況とした。	調査事項は、事業計画地周辺における <u>一般環境大気質</u> の状況とした。																																						
153	表 5-1-1.5	<table border="1"> <tr> <td>塩化水素</td> <td>4季各14日間 夏季：平成25年7月24日～8月7日^(注2)</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>秋季：平成25年10月16日～30日 冬季：平成26年1月15日～29日</td> </tr> <tr> <td>浮遊粉じん</td> <td>春季：平成26年4月2日～<u>17日</u>^(注3)</td> </tr> </table>	塩化水素	4季各14日間 夏季：平成25年7月24日～8月7日 ^(注2)	水銀	秋季：平成25年10月16日～30日 冬季：平成26年1月15日～29日	浮遊粉じん	春季：平成26年4月2日～ <u>17日</u> ^(注3)	<table border="1"> <tr> <td>塩化水素</td> <td>4季各14日間 夏季：平成25年7月24日～8月7日^(注2)</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>秋季：平成25年10月16日～30日 冬季：平成26年1月15日～29日</td> </tr> <tr> <td>浮遊粉じん</td> <td>春季：平成26年4月2日～<u>16日</u>^(注3)</td> </tr> </table>	塩化水素	4季各14日間 夏季：平成25年7月24日～8月7日 ^(注2)	水銀	秋季：平成25年10月16日～30日 冬季：平成26年1月15日～29日	浮遊粉じん	春季：平成26年4月2日～ <u>16日</u> ^(注3)																										
塩化水素	4季各14日間 夏季：平成25年7月24日～8月7日 ^(注2)																																								
水銀	秋季：平成25年10月16日～30日 冬季：平成26年1月15日～29日																																								
浮遊粉じん	春季：平成26年4月2日～ <u>17日</u> ^(注3)																																								
塩化水素	4季各14日間 夏季：平成25年7月24日～8月7日 ^(注2)																																								
水銀	秋季：平成25年10月16日～30日 冬季：平成26年1月15日～29日																																								
浮遊粉じん	春季：平成26年4月2日～ <u>16日</u> ^(注3)																																								
160	上から2行目	ダイオキシン類の調査結果は、表 5-1-1.12 <u>示す</u> とおりである。	ダイオキシン類の調査結果は、表 5-1-1.12 <u>に示す</u> とおりである。																																						
162	上から 3～6行目 及び 表 5-1-1.16	<p>全季平均の降下ばいじん量は、溶解性物質が1.17～1.28t/km²・月、不溶解物質が0.39～0.97t/km²・月、全量が1.56～2.14t/km²・月であった。 最高値は、溶解性物質2.20t/km²・月(A4地点の夏季)、不溶解物質1.27t/km²・月(A3地点の夏季)、全量2.77t/km²・月(A4地点の夏季)であった。</p> <p>表 5-1-1.16 降下ばいじんの調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地 点</th> <th rowspan="2">項 目</th> <th colspan="5">降下ばいじん (t/km²・月)</th> </tr> <tr> <th>夏季</th> <th>秋季</th> <th>冬季</th> <th>春季</th> <th>全季</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	地 点	項 目	降下ばいじん (t/km ² ・月)					夏季	秋季	冬季	春季	全季	・	・	・	・	・	・	・	<p>全季平均の降下ばいじん量は、溶解性物質が1.17～1.28t/km²/月、不溶解物質が0.39～0.97t/km²/月、全量が1.56～2.14t/km²/月であった。 最高値は、溶解性物質2.20t/km²/月(A4地点の夏季)、不溶解物質1.27t/km²/月(A3地点の夏季)、全量2.77t/km²/月(A4地点の夏季)であった。</p> <p>表 5-1-1.16 降下ばいじんの調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地 点</th> <th rowspan="2">項 目</th> <th colspan="5">降下ばいじん (t/km²/月)</th> </tr> <tr> <th>夏季</th> <th>秋季</th> <th>冬季</th> <th>春季</th> <th>全季</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	地 点	項 目	降下ばいじん (t/km ² /月)					夏季	秋季	冬季	春季	全季	・	・	・	・	・	・	・
地 点	項 目	降下ばいじん (t/km ² ・月)																																							
		夏季	秋季	冬季	春季	全季																																			
・	・	・	・	・	・	・																																			
地 点	項 目	降下ばいじん (t/km ² /月)																																							
		夏季	秋季	冬季	春季	全季																																			
・	・	・	・	・	・	・																																			
172	上から3行目 及び 5行目	<p>① 調査事項 調査事項は、事業計画地周辺における<u>沿道環境大気</u>の状況とした。</p> <p>② 調査対象 <u>沿道大気質</u>の現況を把握するため、・・・・・・</p>	<p>① 調査事項 調査事項は、事業計画地周辺における<u>沿道環境大気質</u>の状況とした。</p> <p>② 調査対象 <u>沿道環境大気質</u>の現況を把握するため、・・・・・・</p>																																						
185	上から 11行目	現地調査地点は、調査地域内において人工的な <u>廃熱</u> や局地的な気流による影響を受けず、	現地調査地点は、調査地域内において人工的な <u>排熱</u> や局地的な気流による影響を受けず、																																						
204	図 5-1-1.18 (2) の下図	観測期間：(春季) 平成 <u>25</u> 年 4 月 3 日～8 日	観測期間：(春季) 平成 <u>26</u> 年 4 月 3 日～8 日																																						

頁		誤	正
236	図 5-1-1.29 (2) の地点:A5、地点:A6		
237	上から 9 行目	また、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、塩化水素を対象とし、比較的高濃度が想定される一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、 <u>ダウンウォッシュ時</u> 、 <u>接地逆転層崩壊時</u> の短期平均濃度（以下、「1 時間値」という。）の予測を行った。	また、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、塩化水素を対象とし、比較的高濃度が想定される一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、 <u>ダウンウォッシュ時</u> 、 <u>ダウンドラフト時</u> 、 <u>接地逆転層崩壊時</u> の短期平均濃度（以下、「1 時間値」という。）の予測を行った。
248	下から 9 行目 風速については、ダウンドラフトの影響が強くなる強風時とし、屋上風観測データ（最大風速） <u>もと</u> にベキ補正した高度 500m の風速 19.6m/s を設定した。 風速については、ダウンドラフトの影響が強くなる強風時とし、屋上風観測データ（最大風速） <u>を基</u> にベキ補正した高度 500m の風速 19.6m/s を設定した。
261	表 5-1-1.65 欄外の注 2.	2. 「計算 No.」は「表 5-1-1.60 上層逆転層出現時の予測気象条件」 <u>参照</u> に対応する。	2. 「計算 No.」は「表 5-1-1.60 上層逆転層出現時の予測気象条件」 <u>に対応する</u> 。
282	表 5-1-1.88 欄外の注 2.	2. 接地逆転層崩壊時については、予測気象条件において、煙突排出ガスは全て接地逆転層を突抜けたため、 <u>着地濃度予測結果は算出されず、環境濃度はバックグラウンド濃度として評価を行った。</u>	2. 接地逆転層崩壊時については、予測気象条件において、煙突排出ガスは全て接地逆転層を突抜けたため、 <u>予測は行わなかった。</u>
283	表 5-1-1.89 欄外の注 3.	3. 接地逆転層崩壊時については、予測気象条件において、煙突排出ガスは全て接地逆転層を突抜けたため、 <u>着地濃度予測結果は算出されず、環境濃度はバックグラウンド濃度として評価を行った。</u>	3. 接地逆転層崩壊時については、予測気象条件において、煙突排出ガスは全て接地逆転層を突抜けたため、 <u>予測は行わなかった。</u>

<正誤表> (3/4)

頁		誤	正																								
283	表 5-1-1.90 欄外の注 2.	2. 接地逆転層崩壊時については、予測気象条件において、煙突排出ガスは全て接地逆転層を突抜けたため、 <u>着地濃度予測結果は算出されず、環境濃度はバックグラウンド濃度として評価を行った。</u>	2. 接地逆転層崩壊時については、予測気象条件において、煙突排出ガスは全て接地逆転層を突抜けたため、 <u>予測は行わなかった。</u>																								
284	表 5-1-1.91 欄外の注 3.	3. 接地逆転層崩壊時については、予測気象条件において、煙突排出ガスは全て接地逆転層を突抜けたため、 <u>着地濃度予測結果は算出されず、環境濃度はバックグラウンド濃度として評価を行った。</u>	3. 接地逆転層崩壊時については、予測気象条件において、煙突排出ガスは全て接地逆転層を突抜けたため、 <u>予測は行わなかった。</u>																								
288	表 5-1-1.94	<table border="1"> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ESE (南東)</td> <td>6.4</td> <td>・風上に標高 300m 以上の山、風下に住宅地域 (広野町方面)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	・	・	・	・	2	ESE (南東)	6.4	・風上に標高 300m 以上の山、風下に住宅地域 (広野町方面)	・	・	・	・	<table border="1"> <tr> <td>・・</td> <td>・・</td> <td>・・</td> <td>・・</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ESE (東南東)</td> <td>6.4</td> <td>・風上に標高 300m 以上の山、風下に住宅地域 (広野町方面)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	・・	・・	・・	・・	2	ESE (東南東)	6.4	・風上に標高 300m 以上の山、風下に住宅地域 (広野町方面)	・	・	・	・
・	・	・	・																								
2	ESE (南東)	6.4	・風上に標高 300m 以上の山、風下に住宅地域 (広野町方面)																								
・	・	・	・																								
・・	・・	・・	・・																								
2	ESE (東南東)	6.4	・風上に標高 300m 以上の山、風下に住宅地域 (広野町方面)																								
・	・	・	・																								
328	上から 10 行目	一般車両については、「5-1-1 大気質、(2) 予測、1)工の実施、③工事用車両の運行に伴う影響、 <u>(ウ) 予測条件、d 交通量</u> 」に示すとおり、・・・・・・	一般車両については、「5-1-1 大気質、(2) 予測、1)工の実施、③工事用車両の運行に伴う影響、 <u>オ 予測方法、(ウ) 予測条件、d 交通量</u> 」に示すとおり、・・・・・・																								
368	図 5-1-3.4		<p style="text-align: center;"><u>図 5-1-3.4 工事用車両の運行が最大となる時期</u></p>																								
379	上から 7 行目	予測地点は <u>自動車騒音</u> 調査地点と同じ 3 地点 (N2、N3、N4) とした。	予測地点は、 <u>道路交通振動</u> 調査地点と同じ 3 地点 (N2、N3、N4) とした。																								
392	上から 2 行目	夏季の調査結果は表 5-1-4.5、冬季の <u>踏査</u> 結果は表 5-1-4.6に示すとおりである。	夏季の調査結果は表 5-1-4.5、冬季の <u>調査</u> 結果は表 5-1-4.6に示すとおりである。																								

<正誤表> (4/4)

頁	誤	正																																																
397	表 5-1-4.10 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>ダウンドラフト時</td><td>0.00021</td><td>0.000007</td><td>10 未満 (10 未満)</td><td><u>900</u></td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> </table>	・	・	・	・	・	ダウンドラフト時	0.00021	0.000007	10 未満 (10 未満)	<u>900</u>	・	・	・	・	・	表 5-1-4.10 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>ダウンドラフト時</td><td>0.00021</td><td>0.000007</td><td>10 未満 (10 未満)</td><td><u>840</u></td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> </table>	・	・	・	・	・	ダウンドラフト時	0.00021	0.000007	10 未満 (10 未満)	<u>840</u>	・	・	・	・	・																		
・	・	・	・	・																																														
ダウンドラフト時	0.00021	0.000007	10 未満 (10 未満)	<u>900</u>																																														
・	・	・	・	・																																														
・	・	・	・	・																																														
ダウンドラフト時	0.00021	0.000007	10 未満 (10 未満)	<u>840</u>																																														
・	・	・	・	・																																														
400	下から 15 行目 <p>.....及び「<u>2)</u> 水象、水質、水底の底質その他水に係る環境の状況」に示すとおりである。</p>	下から 15 行目 <p>.....及び「(2) 水象、水質、水底の底質その他水に係る環境の状況」に示すとおりである。</p>																																																
408	上から 2 行目 <p>浮遊物質量 (SS) は最大で 6 mg/L であり、浮遊物質量 (SS) の環境基準 (宇治川 A 類型) は <u>25mg/L</u> と比較しても低い値であった。</p>	上から 2 行目 <p>浮遊物質量 (SS) は最大で 6 mg/L であり、浮遊物質量 (SS) の環境基準 (宇治川 A 類型) の <u>25mg/L</u> と比較しても低い値であった。</p>																																																
410	図 5-2.9 <p style="text-align: center;">図 5-2.9 経過時間と<u>浮遊物質量</u>(SS)</p>	図 5-2.9 <p style="text-align: center;">図 5-2.9 経過時間と浮遊物質量(SS)</p>																																																
412	下から 3 行目 <p style="text-align: center;">A2 : 建物・道路のある区域の面積(<u>m2</u>)</p>	下から 3 行目 <p style="text-align: center;">A2 : 建物・道路のある区域の面積(m²)</p>																																																
427	下から 6 行目 <p>環境濃度への寄与率が小さいこと (252~253 頁 図 5-1-1.62) から、更新施設の稼働によ</p>	下から 6 行目 <p>環境濃度への寄与率が小さいこと (252~253 頁 <u>表</u> 5-1-1.62) から、更新施設の稼働によ</p>																																																
527	①一般環境大気質の表 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>水銀(μg/m³)</td><td>0.0018</td><td><u>00015</u></td><td>0.0017</td><td>0.0016</td><td>0.04^{**2}</td></tr> <tr><td>浮遊粉じん(mg/m³)</td><td>0.022</td><td>0.019</td><td>0.036</td><td>0.025</td><td>-</td></tr> <tr><td>降下ばいじん(t/km²/30日)</td><td>1.68</td><td>1.56</td><td>2.14</td><td>1.58</td><td>-</td></tr> </table>	・	・	・	・	・	・	水銀(μg/m ³)	0.0018	<u>00015</u>	0.0017	0.0016	0.04 ^{**2}	浮遊粉じん(mg/m ³)	0.022	0.019	0.036	0.025	-	降下ばいじん(t/km ² /30日)	1.68	1.56	2.14	1.58	-	①一般環境大気質の表 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>水銀(μg/m³)</td><td>0.0018</td><td><u>0.0015</u></td><td>0.0017</td><td>0.0016</td><td>0.04^{**2}</td></tr> <tr><td>浮遊粉じん(mg/m³)</td><td>0.022</td><td>0.019</td><td>0.036</td><td>0.025</td><td>-</td></tr> <tr><td>降下ばいじん(t/km²/月)</td><td>1.68</td><td>1.56</td><td>2.14</td><td>1.58</td><td>-</td></tr> </table>	・	・	・	・	・	・	水銀(μg/m ³)	0.0018	<u>0.0015</u>	0.0017	0.0016	0.04 ^{**2}	浮遊粉じん(mg/m ³)	0.022	0.019	0.036	0.025	-	降下ばいじん(t/km ² /月)	1.68	1.56	2.14	1.58	-
・	・	・	・	・	・																																													
水銀(μg/m ³)	0.0018	<u>00015</u>	0.0017	0.0016	0.04 ^{**2}																																													
浮遊粉じん(mg/m ³)	0.022	0.019	0.036	0.025	-																																													
降下ばいじん(t/km ² /30日)	1.68	1.56	2.14	1.58	-																																													
・	・	・	・	・	・																																													
水銀(μg/m ³)	0.0018	<u>0.0015</u>	0.0017	0.0016	0.04 ^{**2}																																													
浮遊粉じん(mg/m ³)	0.022	0.019	0.036	0.025	-																																													
降下ばいじん(t/km ² /月)	1.68	1.56	2.14	1.58	-																																													
532	短期的評価(1時間値)の表欄外の注 4. <p>4. 接地逆転層崩壊時については、予測気象条件において、煙突排出ガスは全て接地逆転層を突抜けたため、<u>着地濃度予測結果は算出されず、環境濃度はバックグラウンド濃度として評価を行った。</u></p>	短期的評価(1時間値)の表欄外の注 4. <p>4. 接地逆転層崩壊時については、予測気象条件において、煙突排出ガスは全て接地逆転層を突抜けたため、<u>予測は行わなかった。</u></p>																																																